

まちの
スケッチブック

みんなの笑顔を支えたい!

I want to support the smile of all.

自由民主党・新緑会泉佐野市議員団

千代松 大耕

ちよまつ ひろやす

全国学力テストの結果／学力向上に向けた取り組み
そして食育

市政報告
vol.74

未来を担うひとづくりで
“いちばん”

「千代松大耕のニュースレター」を発行しています!

読者の方々からは、「泉佐野市の状況がよくわかる。」
といった好評をいただいております。

千代松大耕メールマガジン

市政や議会の情報をいち早く市民のみなさまに、お伝えするためにメールマガジンを発行しております。

メルマガの登録は、千代松大耕のホームページ、または下記のアドレスからできます。

ホームページアドレス

<http://chiyomatsu.jp>

登録ページアドレス

<http://www.mag2.com/m/0000156662.html>

ひとりでも多くの方に登録していただければ幸いです。

*検索サイトで「千代松大耕」と検索していただければ、私のホームページにヒットします。

携帯用メールマガジンを開設しています!



携帯版「千代松大耕のニュースレター」の購読を希望される方は、左記のバーコードを携帯電話で読み取るか、または「千代松大耕ホームページ」から登録してください。

千代松大耕ブログ「Izumisano未来日誌」を開設しています

<http://plaza.rakuten.co.jp/chiyogiin/>

「かけはし」の開催

市政と市民の「かけはし」となるべく、毎月一度、市政勉強会「かけはし」を開催しています。開催回数は70回を超えました。基本的に第4木曜日の午後7時30分から午後8時30分まで泉の森ホール2F小会議室で開催しております。前半は私がその時々テーマをお話します。後半は参加者の方々と意見交換やご質問にお答えします。どなた様のご参加もOKです。興味のある方は是非ともご参加ください。

連絡先 泉佐野市松原2-5-31

TEL.458-1708/FAX.464-9478

ホームページ: <http://www3.ocn.ne.jp/~chiyo51/>

メール: chiyoma51@hotmail.com

発行部数累計: 733,500部

*「まちスケ」のバックナンバーが必要な方は連絡ください。

千代松大耕のプロフィール

1973.10.3	泉佐野市松原生まれ
1986.3	泉佐野市立第一小学校 卒業
1989.3	泉佐野市立佐野中学校 卒業
1992.3	同志社香里高等学校 卒業
1996.3	同志社大学経済学部 卒業
1998.7	米国Lincoln University 大学院 修了
2003.3	大阪府立大学大学院 修了
2005.3	和歌山大学大学院 修了
1999.4	株式会社 堀場製作所 入社
2000.2	泉佐野市議会議員初当選
2002.5	泉佐野市議会議員2期目当選
2006.5	泉佐野市議会議員3期目当選
2010.5	泉佐野市議会議員4期目当選

(議会)

2004.5 泉佐野市議会 第61代副議長

2006.5 泉佐野市監査委員(議会退出)

2008.5 泉佐野市議会 第65代議長

その他、厚生文教委員長、予算特別委員長、決算特別委員長、市町村合併検討委員長、行財政委員長などを歴任

(現在)

(社)泉佐野青年会議所 特別顧問

泉佐野市バレーボール連盟 会長

泉佐野市少年軟式野球協会 副会長

泉佐野市ソフトボール連盟 顧問

泉佐野市柔道連盟 理事

泉佐野市青少年指導員

泉佐野市交通指導員

第一小学校協議会 委員

泉佐野市私立幼稚園連合会 顧問

泉佐野青空市場活魚協同組合 顧問

(社)全国自衛隊父兄会泉南支部 顧問

同志社大学体育会アメフト部OB会 常任理事

同志社大学校友会泉州クラブ副代表

佐野中柔道部OB会 相談役

日本教育再生機構大阪 泉佐野支部長

泉佐野商工会議所青年部 会員

看護を考える市町村議員の会 副幹事長

自由民主党 泉佐野支部 政務調査会長

自由民主党 大阪第19選挙区支部 青年部長

自由民主党 大阪府連青年局 次長

「議会を傍聴しませんか?」

議員の主な仕事は「市政に市民の声を届ける」「市政のチェック」「市政への政策提言」の三つです。これらの仕事を果たすために、定例議会におきまして毎回、一般質問をしています。本会議場や委員会 における質問は、議員の務めであるとともに、権利でもあります。議場は市役所5階にあります。どなた様も気軽に傍聴できますので興味のある方は是非ともお越しください。

(問合せ先) 泉佐野市議会事務局 072-463-3723

全国学力テストの結果

民主党政権のもと、小学校6年生、中学校3年生を対象におこなう全国学力テストが、全ての小学校6年生、中学校3年生が受けていた悉皆方式から一部の小学校6年生、中学校3年生のみの抽出方式に移行しました。しかしながら、昨年の3月議会で私が、「泉佐野市は独自に全ての小学校6年生、中学校3年生を対象におこなうべきだ。」と要望をしたところ、平成22年度は泉佐野市内の全ての小学校6年生、中学校3年生が学力テストを受けることになりました。その結果は、大変残念なことに、全国平均を大きく下回ってしまいました。(左の表をご参照ください)。

		泉佐野市	大阪府平均	全国平均	
小学校6年生	国語	A区分問題	82.4%	81.9%	83.3%
		B区分問題	72.0%	75.8%	77.8%
	算数	A区分問題	72.2%	74.7%	74.2%
		B区分問題	45.9%	48.1%	49.3%
中学校3年生	国語	A区分問題	69.6%	71.7%	75.1%
		B区分問題	55.8%	60.2%	65.3%
	数学	A区分問題	59.0%	62.5%	64.6%
		B区分問題	34.6%	39.5%	43.3%

※ A区分問題=基本的な問題 B区分問題=応用的な問題

大阪府平均は、全国的に見ると小学校では順位が上昇しましたが、それでも中学校においては下位の水準にあります。その大阪府平均でさえ、小学校国語A区分問題以外は下回っている現状です。つまり泉佐野市は、全国的にみて学力の水準がかなり低いままであると言わざるをえません。第四次総合計画を策定する際に、泉佐野市はパブリックコメントをおこないました。そのときに「全国学力テストの結果を総合計画の目標値として組み入れるべきだ。」という意見が市民の方から寄せられました。

しかしながら「学力テストの結果は教育活動における一部であるから、目標値として組み入れることはふさわしくない。」というのが市側のコメントでした。いかにも現在の泉佐野市の教育を象徴するかのコメントであります。

もちろん学力テストは国語・算数(数学)という教育における一部ではありますが、全国平均どころか大阪府平均でさえ、大きく下回っているということは、泉佐野市における大きな課題であります。大阪府平均を上回り、全国平均にまで持っていけるような取り組みを考えていかなければなりません。

学力向上に向けた取り組み

以前、私が議会で「学力向上に向けた取り組みは、泉佐野市ではどのようにしているのか?」という質問をしたときの答弁が「いすみさの教育文化運動」についてでありました。「いすみさの教育文化運動」は、児童・生徒の学力を伸ばすためには、家庭・地域を巻き込

んだ取り組みが必要であるという観点から、子どもたちへの接し方から始まる。親学的な部分も含めておこなわれています。

また先生たちが集まって授業の研究などもししていますし、地域や家庭向けの教育フォーラムを開催します。端的に言えば、この運動は、児童・生徒の学力向上面においては、長期的な視野に立つての運動であります。もちろん教育文化運動は十分に意義のある取り組みです。しかしながら児童・生徒の学力を伸ばすには、長期的な視野も大事ですが、直接的な児童・生徒たちへの取り組みも必要であると私は考えます。

学力向上のためには、学校での授業以外にどれだけ学習時間を持つかということが大事です。家庭における学習、つまり家に帰ってからの勉強というところで家庭を巻き込んでの運動をおこなっているわけですが、やはり学校において直接的に授業以外での学習の機会を作ってみてはどうかとも考えます。有名などころでは、東京都杉並区立和野中学校の「夜スヘ」がありますし、近くでは柏原市のSAS(スタディ・アフター・スクール)という取り組みがあります。

和野中は学習塾と提携する「夜スヘ」が有名ですが、学生のボランティアを募って勉強を教える「寺子屋」という取り組みも実施しています。近隣の大学の学生からボランティアを募り、放課後や休日に児童・生徒に勉強を教えるという取り組みは柏原市のSASも同様です。地域・家庭を巻き込もうとする教育文化運動に加えて、このような学校において児童・生徒の学力を伸ばす取り組みが私には有効であると考えますし、まずは小規模校等でモデル校を作ってみることから始めるのも一つの手法であります。

の実施主体はあくまで市町村であり、中学校給食をおこなうかどうかは市町村の判断に委ねられています。大阪府は市町村への補助をおこなうかたちで、普及を進める考えです。

泉佐野市では、利用率の低いスクールランチ事業を実施していますが、選択性であるがゆえに継続的な栄養サポートができません。コンビニ弁当よりは栄養価が高いというレベルです。食育の観点からも中学校給食の完全実施は大切な事業であり、学力・体力の向上に必ずつながっていきます。そして中学校給食は、共働き家庭などの家事の負担軽減にもつながると期待されます。このような流れにある今だからこそ、泉佐野市においては真剣に中学校給食の導入を進めていかなければならないと私は考えます。

そして食育

そして学力向上においては、泉佐野市教育委員会の総力をあげて取り進む姿勢と明確な目標設定が必要であります。2年後には「大阪府平均」、4年後には「全国平均」を全国学力テストで上回るという年次目標を決めていくべきだと私は考えます。これについては全国体力テストについても同様です。

「栄養管理をおこなった給食を提供することで、生徒の学力や体力の向上につながる」と橋下徹大阪府知事は、中学校給食の完全実施に向けた市町村への補助金を平成23年度予算に盛り込む方針を打ち出しました。